東郷村報

第71号
昭和32年10月10日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高
株式会社 安藤印刷所
電話64番

早植水稲を研究しよう

宮崎県は暮し良い所だ、併し、それは最も低い生活がし易い所だと言う意味で、餓え死にしない、言いかえれば、甘藷を食うてでも暮して行ける所だと言う事だろう。

神武時代に最も暮し良く、他の国の人達から日向の農業はやり良いと、うらやましがられたかも知れない。今では科学性を生かして寒い地方の、一年に一作しか取れないと言われて居た、長野県が日本で一番進んだ県として認められて居る。

京都大学、経済学部教授、大規博士は「こう言い乍ら、研究しようとしない研究しないでも、どうにか食える所は伸びませんよ、だから宮崎県は日本で一番おくれて居る、豊かな暮しで無く、死なない程度の暮しをして居る」と言つて居ます。

私共は、このまゝで良いのでしょうか。もう私共と同じ農家が、どんどんと機械化し合理化されて居るのです。

その進んだ地帯では、冬作は出来ぬし、夏作特に水稲でも、寒さで実らない事も有る所で、大変な苦労をして今の姿を作り上げたのだと思います。

台風が来るから、土地が悪いから、と言いのがればかり言つて居て良いのでしょうか。その上これならばいけると大凡の人達が確認し、将来に望みをかけて居る。早植水稲を、一年作つて見て、いや作りもしないで悪く言うと、手もつゝかけずに居乍ら。

「あれは駄目だ」

と考えるばかりでなく、人迄その考えに引き込まうとする人達、こんな人達が有つたならば、それは東郷村の農業の進むべき道に有つて、その足並をくずし、東郷村の農業を足踏みさせ、或は退却させる。ムホン人で有ると言つて言いすぎでしようか？

なぜならば

今年の早植水稲はもちろん良い成績でなかつたとは思われます。併し乍ら、村内の成績を調査して見ますと、一割四分の増収となつて居ます。此の条件の悪い年にやはり増収して居るのです。悪い条件とは。平年に比べて

1、一般的に気温が低かつたこと。

2、苗代田植期に水の温度が上らなかつたこと。

これらのために熟期が二十日おくれて居たことがはつきりしました。それは昨年は八月十三日に出荷が出来たのに、今年の稲刈りは八月の二十三日が最盛期だつたと言うことからもおわかりになると思います。

3、技術的に改善しなければならない点では

(イ)、肥料の設計を地帯別に色分けして立てる。

(ロ)、種まきを十日早める

(ハ)。苗を若苗の中に植える。

等と今年の技術の改善点がはつきりして来ました。こうして新しい方向へ研究すれば、次々と、立派な仕事が出来上ると思われます。

研究もせず、すべてを批判的になつて、古い殻の中にとじこもろうとして居ては、進歩が無いことは申すまでもないことでしよう。

議会報告

昭和三十一年度決算認定を主とする東郷村議会臨時議会は昭和三十二年九月二十六日村会議事堂に招集され会期三日間で次の案件を審議何れも原案どおり可決確定した。

○認第一号　昭和三十一年度東郷村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について

本件歳入五六、六一九、三〇二円に対し　歳出五三、三〇二、三〇八円で差引き三、三一六、九九四円は翌年度へ繰越しとなり原案を認定した。

○認第二号　昭和三十一年度東郷村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について

本件歳入五六、六一九、三〇二円に対し歳出五、二九一、二〇五円に対し歳出は五、七五〇、〇三一円で差引き一、五四一、一七四円翌年度へ繰越しとなり原案を認定した。

○認第三号　昭和三十一年度東郷村国民健康保険直営診療所施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について

本件歳入五、六九一、七三六円に対し歳出五、三二五、八六一円で差引三六五、八七五円を翌年度へ繰越すこととなり原案を認定した。

○議案第三十二号　一般職の職員の給与に関する条例の制定について

本件一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律（昭和三十二年法律第百五十四号）の公布施行に伴う条例の改正で原案どおり可決確定した。

○議案第三十三号　職員の旅費に関する条例の制定について

本件前記条例の制定による東郷村職員諸給与条例の廃止に伴う条例の制定で原案どおり可決確定した。

○議案第三十四号　特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本件議会議員の年報酬を改訂する議案で原案どおり可決確定した。

○議案第三十五号　村長外特別職の給与条例の一部を改正する条例の制定について

本件村長、助役、収入役教育長等の給与改訂の議案で原案どおり可決確定した。

○議案第三十六号　財産及営造物に関する条例の制定について

本件村有財産の取得管理並に処分等について規定する議案で原案どおり可決確定した。

○議案第三十七号　議会の議決又は住民の一般投票に付すべき財産営造物又は議会の議決に付すべき契約に関する条例の制定について

本件議会の議決又は住民の一般投票に付すべき財産営造物又は議会の議決に付すべき契約に関する条例の制定で原案どおり可決確定した。

○議案第三十八号　昭和三十二年度東郷村歳入歳出予算の追加更正

本件議会費以下各科目に若干づつの追加をし追加合計二、一六七、八五九円で歳入歳出ともに予算現計五五、六九七、八六一円となり原案どおり可決確定した。

○議案第三十九号　昭和三十二年度東郷村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出予算の追加更正について

本件追加額は二一五、八七四円で予算現計六、七八六、六九三円となり原案どおり可決確定した。

○議案第四十一号　東郷村国民健康保険運営協議会委員の委嘱について

本件は前診療所長城静雄氏の辞任により委員に欠員を生じたため後任所長の久保田義治氏を委員とする議案で原案どおり可決確定した。

青年学級だより

九月二十六日から月末まで五泊六日の日程で村内青年学級生徒男女四十名を川南町にある県営伝習農場に派遣してみつちり農民魂の修練をした。朝は五時に起床して夜は十時まで実習に学科に学級生一同真剣にとりくんで予期以上の成果をあげることが出来た。次掲はその時の感想文の一、二である。

規律ある生活

福瀬新名弘子

農場に着いたのが、八月二十六の午後三時でしたが、その日は実習には出ず場内見学でした。広いことは、予想以上のものでした。それに多くの家畜「牛馬、豚、羊、にわとり」と田畑の面積の広さを、少しも苦にしていない伝習生の努力と意気に何かしら心押される思いが致しました。

それと共に、どんなにすればそんな時間があるのだろう。と考えずにはいられません。そうして気づきまたことは、農場の時間制限の厳格さです。朝の集りにしても食事の時にしても、先生方の講義にしても、すべて時間と云うものを、考えられておられると云うことです。だから、こんな広農場と家畜の世話がして行けるんだと思います。

もし、これが私達の村に半分でも、否すべての事がらが実行出来るならば、どんなに無駄がはぶけて行くでしようか。

私は心から、東郷のみなさんに叫ばずにはいられません。

中学を卒業されたばかりの伝習生でさえ、りつぱに規律ある生活を続けていられる今日、大人の私達に出来ないことはないはずです。それから、仕事から実習から帰つて来ますと、みんな一人一人が「おつかれさま」と云つて励ましなぐさめ合つている姿を見まして、頭の下る思いが度々致しました。

こうした伝習生の生活を一ツでも早く帰つて実行したい気持と又、伝習生の今後益々、努力され、大きな夢と希望で精進されん姿を、心から願う気持で一杯です。

食卓の
はえ追う手にも
汗光る

夜おそく迄の講義がおわるぐつすりねなけりや
明日の日が思われる。
今日もまた
同じふとんにころがりながら。
一ぱい飯とみそ汁を、
腹に納めて今日も働く。
一町二反の陸稲畑で
刈れば刈る程でる汗も
我等若人未来のためか
仕事が終る、風呂に入る

県営伝習農場の思出

仲瀬桑原貞信

我等東郷若人は
日南青年と
手を取りあつて学び合い、
働き合い
同じふとんにころがりながら。
一ぱい飯とみそ汁を、
腹に納めて今日も働く。
一町二反の陸稲畑で
刈れば刈る程でる汗も
我等若人未来のためか
仕事が終る、風呂に入る

県営伝習農場に於ける青年学級男生徒の実習風景

郊外の秋

牧水

葱ばたけ牛蒡ばたけをゆきすぎてさびしきものか陸稲畑は
つづきあふ畑にとりどり日のさしていまぞ静けき秋みのりどき
おほかたはみのりてはてし秋の野良のはたけの隅を井手の流るる
暮るる野に釣竿さげてひとのゆくいづくに釣りていま帰るらむ

東郷地域農村振興計画が農林大臣から承認になりました

地元事業主体の結束と熱誠に加えて東郷地域農山漁村振興協議会の御努力によつて計画された昭和三十二年度東郷地域農山漁村振興計画（第二年次）特別助成事業が頭初計画の通り承認になり年度内に事業を完了することになりましたことは事業主体の皆様と共に御同慶に耐えない次第でございます。

このように国よりの助成を願うことは本村としては近い将来に又とない好機会でありますから、このよい機会に地元の皆様は緊褌一番常日頃の結束を一層強化されまして事業の早期完了に御努力下さいますよう御願致します。

承認された事業内容は次の通りであります。

一、草資源開発整備事業（下モ内）

事業名	事業量	事業費	国庫補助額	公庫融資額
牧野造成改良	二〇町	一、〇三〇、〇〇〇円	二九八、〇〇〇円	九〇〇、〇〇〇円
展示牧野設置	二町	六六、〇〇〇	一八、〇〇〇	
牧道	一、六七九、三一八m	三三〇、〇〇〇	三五八、〇〇〇	

二、林業経営改善モデル施設（大工野）

林業機械化施設	一カ所	三一〇、〇〇〇円	五八、〇〇〇円
三、苗畑改善施設（東郷）			
苗畑改善施設	五反歩	四二八、〇〇〇円	一六三、〇〇〇円
備考　動撒一、挿穂、作業小屋			
四、共同作業所（稲葉野、大工野）			
稲葉野作業所	一棟三坪 機械器具一式	一、〇二三、〇〇〇円	四八八、〇〇〇円 四一〇、〇〇〇円
大工野　〃	〃	一、二五九、〇〇〇	六〇六、〇〇〇 五三〇、〇〇〇

十月の〝こよみ〟から

六日　村内各小学校の運動会が開催される。運動会は学校教育の主として体育面の公開であるので学校としては年中行事の中でも重要な行事である。ところが父兄の中には物見遊山的な気分で見学している人もいるようだ。一考をわづらわしたいことの一つである。

八日　旧暦の閏八月十五日である。十五夜さんをする部落もあるだろう。すゝきをはじめ秋の野花をかざり、甘藷や栗を供えて月見をするもよかろう「三五夜中新月色、二千里外古人心」の句も浮んで来る。

名月の
芒の穂迄上りけり
（子規）

二十日　四郷地方の中学校の陸上競技会が東郷中学校グラウンドで行われる。より速きものを、より高きものを、より強きものを希求む若人達の競技だけに競技の一つ一つに美がある。「若人達に栄光あれ」と心から祈りたい。

△ルキサシ・ナラヌ
―抜き取りも、差し込みもならぬ
意…行こか戻ろか（立ちすくみ）、セッパ詰つた（土壇場）
解…男女閨中の密事最中突如第三者に見舞われて、サテ動止両難に喘ぐ困惑のシーンから来たもの。斯く語源が猥談に発するので、江戸時代の武士などは禁句として絶体に之を口にしなかつたといふ。

用の鯨尺に対す）

郷土の〝日常語〟解明

海野実門

△コチィ
―コトイ＝特牛（牡牛）
意…「許多負」牛の略
解…「許多」は「訳山」の意の古典語で、ココタオヒ＝コトヒと約まつたもの。能く重荷に堪ゆる牡牛の義。
「倭名抄」中に〝あしびきのやまとコトヒの牛なれば面白くこえ今日はひきけれ〟など歌はれている。（当時大和は牡牛の名産地）

△バンジョウ・ガネ
―番匠曲
意…大工用の曲尺（モノサシ）
解…㈠番匠―昔大和、飛騨などから京都に召されて御所に勤番した大工達。匠は和訓ではたくみ（木工、だいく）。有名な「左甚五郎」は〝飛騨の匠〟の一人だつた。㈡カネ―は曲尺（裁縫

日向木炭品評会出品について

来る十月二十八・二十九日の三日間、延岡市野口記念館に於て「日向木炭品評会」が宮崎県及宮崎県木炭協会の主催で開催されることになりました。

従来京阪神市場に於て日向木炭といわれて珍重されている木炭は上日向、いわゆる県北産のものであつてその中でも本村福瀬部落で製炭法が生れた福瀬炭はその声価が京阪神市場を圧した経歴を有する優秀なものでありました木炭は本村の重要物産でありこれの成否は村の経済に及ぼす影響が極めて大きいので近時稍々下火になつている東郷木炭の声価向上のため、製炭者の皆さんは日頃錬えた腕に、よりをかけ、福瀬炭発生地東郷の名に恥じない自慢の製品をどんどん出品して下さい。

今回の品評会には京阪神の問屋筋からも大勢の方々が参加されることになつていますから、本村木炭の声価昂揚にはよい機会であります。

出品は十月十八日から二十日までに会場に搬入することになつており、林産物検査員の方及木炭協会で御世話していますからよく打合せて遺憾のないようにして下さい。

防犯 派出所だより

東郷小学校児童自治会交通部員の活動

東郷小学校では児童自治会内に、六年生八名を選んで交通部をつくり、一年間同じ者が、毎朝始業前一時間宛、二人一組で四カ所（東郷橋東詰、成願寺前、小学校正門前、下村バス停留所）に分れて、風の日も、雨の日も、又身を切るような酷寒にもめげず、昭和二十四年四月から、今日まで、満八年六月間継続して交通整理に当つて一般通行者、特に自動車運転手から感謝されております。又毎週の火曜日、一時間宛担任の先生を中心に交通整理に対する検討会を開いて、交通の安全と、事故防止について真剣に意見が交され、よりよき効果のあがるよう努力されている。この交通部員の育成については、校長先生を始め全部の先生方の日常の指導督励によるもので、交通部が誕生してこのかた全校児童より交通事故の犠牲者を出してないのは喜ばしいことであります。

この努力に対して宮崎県警察隊長及び宮崎県交通安全協会連合会長から各々一回、又日向警察署長から五回表彰されております。

日に〳〵増加してゆく交通事故を少しでも防げるよう、村民の皆さんこの交通部員の努力に御協力を御願いします。

尚昭和三十二年度交通部員は次の通り

矢野政義、衛藤秀雄、三原末広、伊藤貞男、寺原久夫、松木勝美、内田勝利、木村末治。

お願い

自転車や荷車等の標識をまだとりかえにならない方はいそいでおとりかえ下さい。

税務課

家庭欄

稲刈りに備えて

生活に明るさをもたせることは、簡単なことであり、又一番むずかしいことであります。毎日生活しております中に、問題が幾数ところがり、常にその問題にぶつかつておりますと、あきらめてきます。

このまゝしておりますと、いつまでも農家の生活は、合理化されません。

そこで自分の家によくマッチした、改善をすることが大切になつて来ます。

手頃に出来るものは、どんなものがあるでしようか。稲刈りが初まり、農家は、一そう忙しくなつて来ます。

この農繁期に少しずゝ、合理的にするために、保存食を食べること、子供の衣服、作業衣のつくろい等準備しておきます。

特に注意しなければならないことは、普段より仕事が激しい時ですので、充分食事に気をつけることが、大切になります。

保存食はこの農繁期を幾分よくしてくれるものです稲刈りの前日に保存食を作りましよう。

（五目大豆の作り方）

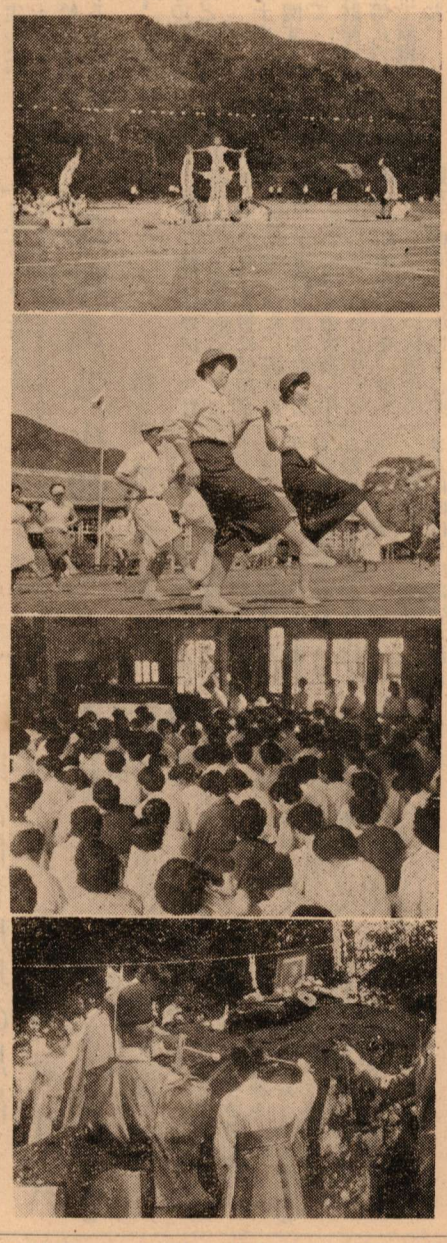
材料

大豆五合、昆布五本、白ごま、五勺、にんじん三本、いりこ五〇匁、生姜五匁、醤油カップ一杯、砂糖、カップ一、五杯、水五杯

作り方

1、大豆はよく洗つて炒る
2、ゴマ炒る
3、こんぶ洗つて二糎にきざむ
4、人参を二糎位の縦に切る。
5、いりこ、生姜をみじんに切る
6、鍋に醤油と水、砂糖を入れて、一度にたゝせて材料を入れてさつとたき上げる
7、下ろしぎわにゴマをふりこむ

九月の行事から



中学の体育大会

中学校が新設されて本年は丁度十周年になるので、中学ではその祝賀の体育大会が盛大に行われた。若鷲を思わせる男生徒の競技、若鮎を思わせる女生徒の演技、見るからにたのもしい限りである。

部落の運動会

鶴野内部落では九月七日部落民総出の大運動会を催しだ。徒歩に団技に歓声をわかせ。自転車遅乗競走や煙草の火つけ競技などに歓笑があり。実行組合別継走に熱狂するなど童心に帰つて一日を過した。敬老席についていたおじいさん、おばあさん達は子が、孫が演ずる数々の競技をにこにこと見つめていた。

村婦人大会

九月十一日、村婦人大会が行われた。午前中、佐伯社会教育課長の講話があり、午後は各婦人グループの活動状況発表等が行われて東小講堂にあふれる程の盛会であつた。

牧水祭

九月十七日、「牧水祭」が盛大に行われた。初秋の太陽が照り輝く歌碑にとくとくと神酒がそゝがれ「ふるさとの尾鈴の山」の朗詠が坪谷の山河にこだまし遠く尾鈴連峰にとけこんで行つた。

診療所に歯科医の出張所併置方を望む

本村に診療所が設置されて四年間、爾来年々医療設備の充実其他村民へのサービス等漸時向上して来た事は寔に有難い。ところで本村に歯科医のいないことは色々の事情はあると思われるが村民にとつて極めて不便であると思う。

いかに健康を誇つているものでも、齢四十を数へると殆んどと云つていゝ位虫歯に悩まされる事になる。

そうでなくても、小学児童の大半は虫歯に浸されていると聞いている。こういう点から観ると世の中にこれ程多い患者を数える病気も稀であろう。

現在歯の治療となれば、近くて日向市か美々津お隣りの西郷村迄行かねばならない。往復の自動車賃も勘定については何等かの施策が必要ではなかろうか。

現在小学校児童の虫歯は年に一、二回の虫歯検診の際発見される程度に上り、これが予防や治療については、何等の方策も為されていない事は憂慮すべきであろう。私は総入歯や包金術の伴う医療は除くとしても差当り、虫歯治療の設備だけは是非共診療所に出張所を併置されるよう要望して已まないものである。

（福瀬一村民）

村民の声

役場庁舎を早く建てましよう

私は時々村役場に行くが、行つた度にあのうす暗いそしておそろしい程にかたむいている事務室で執務している村吏員諸公に心から敬意と感謝を表している一人である。

しかしこのような不備な事務室で事務をとることはその事務能力の減退も非常なものだろうと思つているが、それにもまして憂うることは吏員の健康に及ぼす影響である。聞くところによると現在でも胸部疾患で長期休養の吏員が数名いるとの事だが、こうしたこともこの不完全な事務室で執務することもその一つの原因ではなかろうか。若しこれが他の公共建物であれば、おそらく使用禁止を命ぜられるであろう程に危険な建物である。倒壊寸前にあると言つても過言ではないと思つている。若しも倒壊という不幸な事態が起り吏員の生命に若しもの事があつたら大変である。想像するだけでも身の毛がよだつて来る。

役場には吾々村民の権利義務に関する書類を始め戸籍関係の書類やその他重要な書類が沢山蔵されている。若しこうした書類が喪失することがあつたならば村政は摩痺状態に陥るのである。

こうした事を考え会せて見ると完全な役場庁舎の建築は最も急を要するものではなかろうか。村内学校々舎の建設も大方目鼻がついたようであるから役場庁舎の建設に村当局も議会も眼を向けていたゞきたいものである。

（一村民）

× × ×

文芸

あまだれ

福小六年　川越辰男

ぼくが、まどに寄つて見ると
外では雨が降つていた。
糸のような雨が降つていた
ぼくは、そつと手を出したすると、あまだれが落ちて来た。
手の先にポタンとかかつた
冷たいあまだれだつた。

風

越小三年　なすたか子

風が、むこうの山からびゆつと、ふいてくる
風の方を、向いて「風、風、ふくな」というとわざと、ふいてきてわたしの、スカートがとんでいくようだ
むこうへ行つた風は木を、ばらばらさせてにげてしまつた
また、あとから、おいかけてくる。
つよい風どこへいくのだろう、と思つて、見ていると
川をこえ、山をのぼつて野原の、むこうへ、いつてしまつた。

牧水祭短歌会入選

選者　越智溪水氏

坪谷　杉田与三郎

すり減りて軽くなりたる古鍬の使ひ安しも老ひしわが手に

日向市　草野　昭二

日曜出勤の妻を見送る庭端にざくろの花が今朝一つ咲く

門川　山本　信

命はや尽きんとする朝の蛾の片はゞたくを見つゝ掃きおり

訪れし信濃の国は山脈の雪消えぬまゝに木々芽ぶきたり

北郷　甲斐　葉末

古書の中ゆ押花出でぬいつの日か亡夫のはさみしこの

雛芥子よ

坪谷　黒木　チヅル

峡深く朝陽の映えてひとすじに青き線引き材木はとぶ

坪谷　矢野　文雄

台風十号まぬがれざるか雲くらきここの迫田の出穂さかりなる

坪谷　若林　博信

台風去りあらい出されし石の道のぼれば出でぬ栗の林に

坪谷　矢野千代松

朝明けの西林山の霧の中空中索道の隠り初めつ

山陰　佐藤　正美

高空に月さえかえりて遠い山起き伏すところ尾鈴嶺の見ゆ

佳作

坪谷　若林　博信

ひとうちにせむ蝿一匹いさかいて心の底にしこりをもてば

吾が抱く児の体温の移り来てたまゆうにただ愛しさ湧ける

西郷　高橋　元一

転任を告ぐる電話を聞きてより雨のその日の早やに暮れたり

今日買ひし金魚机に置きをれば時折り動く吾におどろく

羽坂　黒木　久子

野草背ふて乙女のせなのおみなへし古里恋し秋となるかな

坪谷　杉田与三郎

花園は日日に淋しくなりにけり子らの持ちくる山百合の花

山陰　本田　茂雄

隔離されし病舎の窓に麦青し預けし吾子の思いやらるる不断には交り少なき旧き友が吾が病床を見舞いてくれぬ

日向市　草野　昭二

せまり合う峰より雨のかけ下りてしぶき煙れるダムの水面

満水の水上遠く峡に入り雨にけむれるダムの湖

門川　山本　信

稚な貝海に返せばころころと波にひかれてまろびゆく見ゆ

北郷　甲斐　葉末

夜となれば見ゆる日かなし速日嶺よなみたつ山々いづれも黒きに

坪谷　矢野　文雄

二年ぶり仕事着となる妻の足白きが静かに土踏みてをり

畑買へり只にうれしも畑買へり二畝三歩を一廻りする

日の立つにつれて穂づらの黒みくる暴れし田に来てため息をつく

迫ノ内　志田袈裟夫

焼きつくる青田に父が撒粉なす豊作と言ひはゝえみながら

北郷　石川三重子

母の忌に四人揃えぬ嘆き来し妹の手紙を職員室によむ

迫ノ内　黒木　敏夫

木の芽は萌ゆるばかりの山裾に父ときて負う税となる木炭を

延岡市　甲斐　武雄

若き日の歌人を偲ぶ校庭に今日は桜のわくら葉ぞ散る

越表　志垣　澄幸

小丸川の激のこえは秋づける山のあいだに集り響く

南郷　島田　弘人

牧水の生家を見むと尋ね来し垣ぬち蘭の香り漂う

編集後記

◇「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように彼岸すぎた昨日今日は秋の気はいも深く、あそこの土手、こゝの田の畦に火のようにもえていた漫珠沙華も色あせて淋しい姿を秋雨にうたれている。

◇十月、稔の秋である。幾度か心配した台風もたいした爪跡も残さないでこの秋を迎えたことは同慶に堪えない。先づこれで三年連続の豊年とは行かなくとも相当の出来栄である。豊年のかけ声に酔わないで剰余は凶年に備えて貯えておくことにしたいものである。

◇秋は「天高く馬肥ゆるの候」という。また「燈火親しむ候」ともいう。暑からず寒からず万物は稔り、気は澄み申し分ない時季である。この季を逸せず、老いも若きも大地に大きく鍬を振るおう。心身を大きく鍛うことにしよう。

◇こゝに十月号をおくる御一読を乞う。

なだらなる岡の片がわそばの花